

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

基本事業 教育内容の充実

事業名 **豊かな体験活動推進事業**

[0938]

部名	教育部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室 学校教育課	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>豊かな体験活動推進事業対象校 (農山漁村におけるふるさと生活体験推進校)</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>学ぶ意欲や自立心、思いやりの心を育むとともに、自ら進んで考え行動する力などを養う</p>
手段	
<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>都市部に住む対象校の児童生徒たちが、4泊5日で農山漁村(小平町)へ行き、農林水産業を体験したり農家に民泊するなど、普段とは異なる環境の中で様々な体験をする。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	対象校数				1	
対象指標2						
活動指標1	参加児童生徒数				37	
活動指標2						
成果指標1	学習意欲や自立心が向上し、思いやりの心が育つなど、児童生徒が成長したと感じた引率教員の割合				100	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,076	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	830	0
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,906</b>	<b>0</b>

費用内訳	
21年度	旅費 98千円、需用費 89千円、役務費 168千円、使用料及び賃借料 721千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

主要学校行事のひとつである宿泊学習をより充実させるための事業であり、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

農林水産業について体験学習し職業観を養うことや、農家宿泊体験及び自然の中での様々な体験学習を通して児童生徒の社会性や豊かな人間性を育むことは、子どもたちの健やかな成長を促すこととなり、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

教職員、児童、保護者からの感想は好意的である。また、児童の自立心や思いやり、心が育まれ、家庭での手伝いの時間も増えるなど、良い影響があった。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

平成21年度で終了する事業のため

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

平成21年度で終了する事業のため